

## 2023年度

科目名称	動物外科看護学
授業コード	BC280
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	佐伯 潤 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	病気や外傷によって動物達は様々な身体的な障害を起こすが、その治療法としての外科的手術の概要ならびに関連する事項について学び、周術期の動物看護に必要な知識を習得する。愛玩動物看護師国家試験を受験するために必要な科目となっているため、授業の内容は愛玩動物看護師カリキュラムに準拠したものとなっている。
科目に関連する実務経験と授業への活用	愛玩動物看護師国家試験の受験や獣医臨床の現場において必要な外科的知識を臨床獣医師である担当教員が豊富な臨床経験と手術経験を生かした講義を行う。
到達目標	<p>【科目特有の知識・技術についての到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 麻酔や手術に伴う体内の変化について理解する。</li> <li>2. 麻酔や手術を行う際に必要な基礎知識を理解する。</li> </ol> <p>【汎用能力としての学士力についての到達目標】</p> <p>緊急事態への対処方法についても理解し、動物の手術や麻酔管理への対応できる知識を身につける。また、動物のクオリティーオブライフに配慮した周術期管理について考えられるようになる。</p>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外傷、創傷管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科的侵襲の病態生理</li> <li>・創傷の分類</li> <li>・止血法</li> <li>・整形外科外傷の管理</li> </ul> </li> <li>2. 外科手術とは <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科手術の種類</li> <li>・手術の流れ</li> <li>・手術チーム</li> <li>・周術期とは</li> </ul> </li> <li>3. 術前準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼い主への対応</li> <li>・手術を受ける動物の準備</li> <li>・滅菌</li> </ul> </li> <li>4. 術前準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室での術前準備</li> <li>・手術に必要な機器の準備</li> <li>・無菌的処置</li> <li>・ポジショニング</li> <li>・術野の準備と消毒</li> <li>・手洗い、手術着・手袋の着用法</li> </ul> </li> <li>5. 麻酔 <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割</li> <li>・麻酔リスクの評価（ASA 分類）</li> <li>・全身麻酔の流れ （麻酔前投与、注射麻酔（導入）、吸入麻酔（維持））</li> <li>・導入時と覚醒時の注意点</li> </ul> </li> <li>6. 麻酔</li> </ol>

計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔看視の意義</li> <li>・麻酔看視の方法</li> <li>・麻酔看視項目</li> <li>・麻酔記録の作成法</li> <li>7．疼痛管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・疼痛の評価</li> <li>・鎮痛剤</li> <li>・局所麻酔薬</li> </ul> </li> <li>8．術中補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接補助</li> <li>・間接補助</li> <li>・一般的な手術器具の名称と使用法</li> <li>・軟部外科手術での補助</li> </ul> </li> <li>9．術中補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科手術で使用する手術器具の名称と使用法及び補助</li> <li>・歯科処置で使用する器具の名称と使用法及び補助</li> <li>・眼科や脳神経外科手術で使用する手術器具の名称と使用法及び補助</li> </ul> </li> <li>10．縫合材料と縫合法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・縫合糸と縫合針</li> <li>・各種縫合法</li> </ul> </li> <li>11．術後管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔覚醒後の動物のモニタリング</li> <li>・退院時の注意点と退院後のフォロー</li> <li>・褥創の予防及び対処法</li> </ul> </li> <li>12．術創管理と包帯法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・術創の管理</li> <li>・包帯法</li> <li>・ドレーンの装着と管理</li> </ul> </li> <li>13．ショックと救急救命法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態（エマージェンシー）</li> <li>・ショックの定義と分類</li> <li>・救急救命法 （一次救命措置、二次救命措置、気管挿管法）</li> </ul> </li> <li>14．動物理学療法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法の目的と意義</li> <li>・理学療法の進め方</li> <li>・理学療法の手技</li> </ul> </li> <li>15．授業内試験</li> </ul> <p>なお、動物外科看護学実習においても同様の項目が含まれるため、双方でしっかりと理解をすること</p>
授業の進め方	<p>パワーポイントを使用した授業形式だが、実際の手術症例の紹介をまじえることで、臨床現場をイメージしやすい工夫を行う。</p> <p>また、授業内容の理解度を確認するための確認テスト（小テスト）を実施する。</p>
能動的な学びの実施	<p>確認テスト（小テスト）を行い、授業内容の振り返りを行う。</p>
授業時間外の学修	<p>すでに行われた授業の復習を行う（60分）。</p> <p>次の授業の項目について教科書に目を通しておく（60分）。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 第8巻（動物栄養学 動物外科看護学、動物医療コミュニケーション）EDUWARD Press</p>
成績評価方法と基準	<p>定期試験（70%）＋確認テストおよび課題提出（30%）</p>
課題等に対するフィードバック	<p>課題の際に出た質問等はキャンパススクエアやメールで返答する。</p>
オフィスアワー	<p>Campus Squareを参照</p>
留意事項	<p>愛玩動物看護師国家試験受験資格となる農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目となる</p>

## 2023年度

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面授業となった場合には以下のように実施する。</p> <p>授業の進め方 オンライン講義形式（オンデマンド方式）で行い、必要に応じて、パワーポイント等の視覚的教材を用いる。</p> <p>成績評価方法 出席：各回の資料のダウンロード 授業参加態度：課題の提出 評価：確認テスト（授業毎に実施）</p> <p>成績評価：授業参加態度（資料ダウンロード+課題提出（50%））、小テスト（50%）</p>
------------------------------------	--